

満天レター



Vol.13 丹後駅伝展望号

丹後駅伝の展望（長距離パート長 大竹宏明）

季節が秋から冬に移り、男子駅伝の季節がやってまいりました。今年も11月22日に関西学生駅伝が丹後半島にて行われます。昨年は13位に終わり、誰一人としてその結果に満足することなく、更なる飛躍を心に誓い、この1年間練習に取り組んできました。

シーズン前半は怪我や不調で満足な結果を残せない選手もいましたが、夏の走り込みの時期を越え、チームが成長しているという手応えを感じられるほどになりました。目標は昨年と同様にシード権獲得となる8位です。容易に達成できる目標ではありませんが、手の届かない目標でもありません。全員で力をすべて出し切り、この1年を締めくくります。ご声援のほどよろしく願いいたします。

選手紹介

一区 (8.0km) - 大竹 (工・4)

この1年パート長としてチームを引っ張ってきました。5000、10000ともに自己ベストを出し、勢いに乗っています。昨年この区間を走った経験をいかし、必ずチームにいい流れをもたらします。

二区 (8.7km) - 三根 (基・3)

次期パート長として、チームの中心選手としてみんなを引っ張っている選手です。早い時期からこの区間の特徴である最後の急勾配の上り坂を意識して練習に取り組んできました。難易度の高い区間ではありますが、安心して任せられるランナーです。

三区 (7.0km) - 森田 (基・4)

昨シーズンまでは調子の良し悪しの波がはっきりした選手でしたが、今シーズンは4回生らしく安定した結果を収めています。下り坂が中心で最短距離のこの区間で持ち前のスピードを存分に発揮してくれるはずです。

四区 (9.7km) - 松井 (基・M2)

長い距離をしっかりと走り込んでおり、安定感抜群の選手です。この駅伝に向けて計画的に着実に調子を整えてきてくれたので、間違いなくすべての力を発揮して、たすきをつないでくれると思います。

五区 (12.3km) - 酒井 (基・M2)

5000、10000ともにチームトップのタイムをもっており、実力的にも精神的にもチームの柱として活躍している選手です。今シーズンは自己ベストを更新して調子もよく、最長距離であるこの区間で他校のエースと互角のレースをしてくれるはずです。

六区 (11.8km) - 水野 (医・3)

長い期間、故障に苦しんだ選手ですが、走れない時も意識を高くもって体を鍛え上げてきてくれました。スピードはありませんが、どんなレース展開になっても強い気持ちで絶対にたすきをつないでくれると思います。

七区 (12.1km) - 吉田 (経・2)

間違いなくこれからチームを引っ張っていける力を持った選手です。予選会では不調で実力を十分に発揮できませんでしたが、駅伝本番では必ず本来の力を取り戻し、のびのびと走ってくれるはずです。

八区 (11.8km) - 土岐 (工・3)

怪我が多く、まだ対校戦での活躍はあまりありませんが、なんだかんだと速いという不思議な選手です。プレッシャーのかかる最終区ですが、そんなものはお構いなしに実力を発揮してくれると思います。

情報提供のお願い

大阪大学陸上部では、毎年満天下に歴代記録を掲載しております。しかしながら、人の手で記録をまとめているということや過去の記録集やプログラムなどが残っていないことがあり、たびたび記録の間違いが発覚しております。

そこで、過去の記憶や過去の記録集、プログラムなどの情報をお持ちの方で名簿や歴代 50 傑の精度向上にご協力いただける方がいらっしゃいましたら、ぜひメール (info@osaka-u-athlete-club.com)にて情報提供をお願いいたします。

終わりに

阪大陸上部公式ホームページも随時更新しておりますので、ぜひそちらもご覧ください。

OB 掲示板も開設しております。情報交換の場としてお役立ていただければ幸いです。

公式ホームページ <http://www.osaka-u-athlete-club.com/>

OB 掲示板 <http://jbbs.livedoor.jp/school/25842/>

掲載内容についてのご意見、また配信停止の御希望等がございましたら、満天 Letter 編集係 (manten.letter2010@gmail.com)までご連絡ください。

満天 LETTER 2014 年 vol. 13 丹後駅伝展望号

発行大阪大学陸上競技部(大阪府豊中市待兼山 1-1) 発行日 2014 年 11 月 16 日

編集責任者 土岐慧子, 東村果穂